

～医療生協健文会の職員のみなさま～

メロス通信 不定期便



Vol.21

2024年7月号

発行：地域福祉室

無料低額診療の普及、困窮者の発見、地域と職員の協同を目指す、旦の辻、明神町での『まちかど健康チェック&相談会』は大成功に終わりました



つどう

地域にはかつてない多様な生活問題と困窮が広がっています。私たちは山口民医連の志のある仲間と、医療生協組合員として地域の見守りや健康活動を行なう共同の組織と、市民のため公的支援を提供する民生委員と地域包括と共に、見知らぬ命を照らすため、地域の心に触れるため、私たちは『つどい』ました。

6月20日（木）は旦の辻市営住宅の集会場に医師1名、上宇部クリニック3名、協立歯科1名、支援部2名、地域福祉室3名、組合員1名、中部第一地域包括2名、民生委員2名が集い、地域からは7名が参加してくれました。

6月26日（水）は岬市営住宅の集会場に医師1名、医科歯科研修医2名、協立病院4名、協立歯科1名、支援部1名、南部第一地域包括2名、地域福祉室3名、組合員3名、民生委員1名が集い、地域からは14名が参加してくれました。

医師、職員が多く集った今回の取り組みに、組合員、地域そして職員からも驚きと喜びの声が聞こえてきました。



つたえる

私たちが『つたえる』のは単に健康チェックによる健康のバロメーターではありません。笑顔や優しさ、『あなたの存在を大切にしたい』という民医連の無差別平等の医療・介護の精神です。命の尊厳を守る医療福祉生協の理念も同じです。そんな言葉は口にはできませんが、この取り組みそのものが、そして目の前の人々と交わすごく普通の対話のなかに、私たちのこの思いが温かく流れていました。絶えない笑い声、互いに抱きしめ合う姿、会場は優しさに包まれていました。

つながる



笑顔になる

今回の大きな成果は『つながる』ことでした。職場を離れて組合員と活動を共にすることで、改めて組合員との共同を感じ絆を得たようでした。民生委員や地域包括との協働は、共に地域の暮らしを良くしていく地域の仲間として健文会が繋がれたように感じました。人間は心の交流のなかで真につながっていくことができるのだと、志を共にした2つのチームから学びました。

これから上宇部クリニックは今回つながった民生委員や地域包括とさらに活躍の場を増やしていくことでしょう。協立病院は地域を支える数多くの職員の新たな活躍の場を発見しました。これからの取り組みが楽しみです。

そして今回の宝は『笑顔になる』ことです。地域に出ること、地域と取り組むことはみんなの喜びでした。職員、地域の喜びを、社会から隠されまだ目の前にない方々の笑顔に変えていくよう、共に頑張りましょう。